



麻生多摩美の森だより

54

麻生区市民健康の森 一麻生鳥のさえずり公園一

麻生多摩美の森の会広報紙第 54 号 2018 年 10 月 31 日発行

発行人：会長 井上 正樹

第 17 回植樹祭・収穫祭開催にあたり

会長 井上 正樹

会長就任後 2 回目の第 17 回植樹祭・収穫祭【11 月 18 日（日）午前 9 時半～午後 1 時半】を迎えるにあたり、今年の方針を述べさせていただきます。

① 植樹と暮らしに役立つ植物

2001 年以来 18 年にわたり植樹してきましたが、園内に植えられる場所も限定されてきました。そこで本来の里山の姿に戻し、萌芽更新の一年目に子供たちにドングリを植えてもらって苗木を育てることにしました。

又、従来やってきた「暮らしに役立つ植物」のやり方を**ゲーム性を持った子供参加型**に変更して行きます。詳細は検討中です。

また、樹木の名前を憶えてもらえるよう園内の 5 本の樹木には樹名板を取り付けます。

② 里山の幸を楽しむ

料理内容はけんちん汁・焼き芋・ゆで里芋・マシュマロ焼きを予定しています。お手伝いしていただける方は多摩美子ども会・多摩美和太鼓の会、多摩美みどりの会の方々を予定しています。

③ 森の音楽祭

地元の子供たちの多摩美和太鼓の会に今年もお願いしています。

さらに 4 年ぶりに登場の新井夫妻によるアルプホルン演奏をお願いしています。緑豊かな森にこだまするホルンの音色はアルプスを彷彿させることでしょう。ただし、近隣住民のことも配慮しホルンの向きは住宅側を避けて行います。

④ 招待者

従来 of 招待者に加え新たに近隣の幼稚園、保育園にも積極的に声をかけていきます。



のらぼう菜の種子を撒いた親子の皆さん

最後に第 17 回植樹祭・収穫祭が成功裏に終わりますよう、関係者の皆様の一層のご協力のほど、よろしくお祈りします。

快晴に恵まれ 70 人が参加

8月4日、川崎市麻生区市民健康の森を会場とする、「夏の星空を楽しむつどい」は猛暑の中、快晴に恵まれて70人以上のお客様にたっぷり星を楽しんでいただきました。今回は小さなお子様が多く、30人近くいました。夏冬年2回行われているこのイベントの最大の特長は、「星と緑のコラボレーション」であり、また地域・地元密着型であるということです。2006年8月に始まったこのイベントですが、今回でなんと13年目、通算で22回目を迎えました。

さて、当日は快晴に恵まれて、3台の望遠鏡で木星、土星、夏の星空のほか、7月31日に15年ぶりに大接近した火星も低空ですが、ご覧いただくことが出来て良かったです。

会場からは樹木が伸びすぎて、一部の星が見えないと予測されるため、3人の会員が所有する18cm反射赤道儀、25cm反射ドブソニアン、10cm屈折赤道儀をばらして設置しました。木星の縞模様や土星の環、スピカなどが見えて大きな歓声が沸きました。

当地から見えるかどうか心配していた火星も、会場の端から見え始め、10cm屈折赤道儀を再々度移動して、皆さんに見ていただきました。

今回は質問も老若男女からいただきました。「カシオペア座はいつ見えるの

小川 誠治 (オーロラ天文台)

か」、「夏の大三角は見られるのか」(ちょうど空に見えてきたので、ご説明しました)、「あの星はなんという星か」(アルクツールスと答えました)、「火星を見たいが、見られるのか」などでした。

今年は酷暑続きで、この日も昼間から気温が40℃近くと暑すぎるので、観望会中のボランティアの熱中症対策として冷却シートをおでこに貼り、これでも暑いという方には、(笑)さらに「アイスノンベルト」を首に巻いていただきました。(笑)司会の挨拶で、帽子を取っておでこを見せながら「スタッフはおでこに冷却シートを貼り付けています」というと、参加者にバカ受けとなりました。(笑)さらに「キョンシーとか、怪しいものではありません」というと爆笑になりました。

夜になって、風が吹いてきて意外に涼しく、気温は27℃くらいでした。

冬の星空を楽しむつどいは**2019年2月2日(土)**です。期待して待ってね。



夜の観望会

2年生「西生田キラリ☆たんけんたい」

中谷 一郎

平成30年10月15日(月)、10:30～11:30、2年生の生活科の学習でどんな思いで、地域のために働いているのかを知ること、笑顔で地域の人と接したり、社会の一員として自分の行動を振り返ったりすることが出来る様、森でのインタビューを受けました。

当日、生徒9名、先生1名、父兄3名、森の会員2名、オブザーバー、川崎市公園緑地協会1名です、子ども達から14問の質問を受けましたが、紙面上1部を掲載いたします。

1、どんな仕事をしているのですか

月に4回、作業日は第1(土)、第3(日)補助作業日は第2、第4水曜日、会員全員で環境保全、管理のため、草刈、樹木の間伐、枝打ち、篠竹の蔓の除去、畑の手入、清掃等をしています。現在会員は37名ですが参加者は6～10名で平日は3名前後で高齢化のため作業の出来る人が激減しています。



多摩美の森の家で学習会

丸太階段講座を受けて

勝田 佳代子

7月25日、丸太階段作りの出前講座が麻生区市民健康の森(多摩美の森)で行われました。主催は川崎市公園緑地協会で団体の活動支援の一環です。健康の森からふれあいの森へ上がっていく階段づくりで、指導するのは県の森林インストラクター3人、受講するのは多摩美の森の会員5人でした。

階段づくりに使う資材は、長さ90cm・直径10cmの白木丸太、先端加工した長さ60cm・直径6.5cmの杭、12cm・直径6mmのカスガイです。

作業手順は、まずは場所づくりの笹刈り・草刈りから始めて斜面の土を整え、スコップでざっと階段状にします。次に、水準器を使って丸太を水平に置き、杭を木槌で打ち込みカスガイで丸太を固定します。

実に丁寧な作業に受講者全員熱心に入っていました。2段目からは指導を受けながら私達受講者もやってみましたが、杭が垂直か横木が水平かを作業の途中に確認しながらの作業で杭を打ち込む角度やカスガイの打ち方など難しく、見ているのと実際にやってみるのは大違いでした。



一段ずつ繰り返して5段の階段が完成。後日私達だけでこの続きを完成させなければなりません。どうなりますか?

丸太階段が5段まで完成

シイタケ栽培

井上 正樹

昨年迄は椎茸の収穫も順調にいらっていたが、新しいホダギも人手不足から補充できない状態であった。そんな状況のなか川崎市公園緑地協会野牛さんより「椎茸の菌を打ち込んだホダギを置いてもらえないか」との申し出があり、二つ返事で「喜んでお受けします。」と。6月13日に搬入した。今までの場所では狭いので拡張の為、周囲の低木の撤去草刈りを行い、更にホダギの支えを丸太と竹で作成した。シイタケ菌を打ち込んだ一年目と二年目のテープの色を変えたホダギを並べていった。また、場所的には「直射日光の当たらない、風通しの良い場所を選んで」とのコメントもいただいた。

今年は台風の影響でコナラ、クヌギ等の倒木処理に追われたが、長さ90cmのホダギを計画的に用意していく計画である。



ホダギを並べている様子



大きくなりすぎた椎茸

今後の活動予定

副会長 中谷 一郎

暮れは行事が沢山あり、植樹祭・収穫祭を初め、若いお母さん方の協力により行事が進んでいます。今後活動が楽しみです。ぜひ会員外の方も森に気楽においでください。

今後の活動予定は下記の通りです。

- 11月 3日(土) 幹事会、草刈、清掃。
- 11月17日(土) 植樹祭・収穫祭の準備。
- 11月17日(土) 交流事業里山編、多摩区民館
- 11月18日(日) 植樹祭・収穫祭。
- 12月 1日(土) 幹事会、樹木の手入、清掃。
- 12月15日(土) 麻生プレーパーク の支援。
- 12月16日(日) 草刈、蔓の除去、清掃。
- 12月18・19日(水) カリタス女子学園、クリスマス奉仕作業。
- 12月26日(水) 作業納め、清掃、注連縄。
- 1月 5日(土) 幹事会、作業初め、お浄め。
- 1月20日(日) 樹木の整備、蔓の除去、草刈。
- 2月 2日(土) 蔓除去、冬の夜空の観望会。
- 2月16日(土) 麻生プレーパークの支援。
- 2月17日(日) 樹木の整備、蔓の除去、清掃。

作業時間は10月から5月までは10時からです。



麻生多摩美の森の会のホームページで、本紙のバックナンバーもご覧ください。
←QRコード

<http://web-asao.jp/hp2/tamami/>

会員募集中(年会費1,000円)

一度見学にお出で下さい。里山の楽しさを親子で味わって下さい。

皆さんの投稿、感想をお寄せ下さい。

お問い合わせ・連絡先: 井上 正樹 090-6019-3788 fqmcy643@ybb.ne.jp